

**PRESS RELEASE**

報道関係各位

**ウォーキング感覚の「歩き遍路体験ツアー」を共同で商品化**

**東京から徳島へ1泊4日 29,800円 高速ツアーバスで行く四国八十八箇所遍路の旅**

琴平バスグループの旅行会社、新日本ツーリスト（香川県高松市朝日町5-4-18、社長／楠木泰二郎）と、ホテルサンシャイン徳島（徳島県徳島市南出来島町2丁目9 取締役副社長総支配人 梯学）は、共同企画として、四国八十八箇所の入り口である1番札所から10番札所を徒歩でめぐる歩き遍路体験ツアーを商品化しました。新日本ツーリスト「コトバス・エクスプレス」のWebサイト <http://www.kotobus-express.jp> で2月19日から受付を開始いたしました。

◆東京発1泊4日 29,800円の格安プランでお気軽にお遍路ウォーキングを体験できます。

- 最小催行人員2名から毎日出発保証。
- 四国八十八箇所全行程約1,200kmの入り口、約24kmを2日間かけてゆっくり歩きます。
- 遍路道は街道筋の古い町並みあり、山の中の小道あり。起伏が少なく歩きやすいコースです。
- スタート地点、ゴール地点の札所（お寺）まではホテルの車で送迎します。
- はじめは菅笠や白衣を着ていなくても、読経や参拝の作法がわからなくても大丈夫。ウォーキング感覚で気軽に歩き始めていただけます。
- バスの到着時刻から歩き遍路スタートまでと、ゴールからバスの出発時刻の間は余裕がありますので、ホテルでの休憩・仮眠や入浴、徳島市内のミニ観光なども可能です。

◆行程

1日目	東京ディズニーランド 20:00/東京 20:50/新宿 21:30＝（車中泊）
2日目	＝徳島下車 6:15頃（徒歩5分）⇒ホテルサンシャイン徳島（自由行動）⇒12:00 ホテル出発（送迎）⇒13:00 一番札所霊山寺～四番札所大日寺⇒17:30（送迎）⇒18:30 ホテルサンシャイン徳島（宿泊）
3日目	7:30 ホテルサンシャイン徳島出発（送迎）⇒8:30 五番札所地藏寺～十番札所切幡寺⇒17:30（送迎）⇒休憩・自由行動⇒22:25 徳島乗車＝（車中泊）＝
4日目	新宿 7:00/東京 7:30/東京ディズニーランド 8:00



思い思いの服装で、さあ出発！（一番札所霊山寺）



当ツアーで利用の高速バス「コトバス・エクスプレス」



<お問い合わせ先>

新日本ツーリスト株式会社 企画営業部 担当：廣野（ひろの）・西川

TEL：087-823-5678/FAX：087-823-6500

E-mail：[e-tabi@sn-t.com](mailto:e-tabi@sn-t.com)

## 【参考資料】



300年以上前の仁王門（8番札所熊谷寺） 上「あわじ亭」で草餅を（9番札所法輪寺） 333段の石段（10番札所切幡寺）  
下 ときには田んぼのあぜ道も（3番札所付近）



ホテルサンシャイン徳島外観 お遍路のいでたちで歩く夫婦

### ◆新日本ツーリスト(株)

設立：1984年10月

代表取締役：楠木泰二郎

所在地：香川県高松市朝日町5-4-18

TEL：087-823-5678/FAX：087-823-6500

### ◆(株)中央不動産 ホテルサンシャイン徳島

設立/1988年6月

代表取締役/梯 秀夫

所在地/徳島市南出来島町2丁目7-1

TEL：088-622-2333/FAX：088-622-2314

## 【四国八十八箇所 歩き遍路とは】

四国八十八箇所は、四国にある88か所の弘法大師（空海）ゆかりの札所の総称。これらを巡礼する旅を「四国遍路」・「四国霊場参り」などという。地元の人々は巡礼者をお遍路さんと呼ぶ。

八十八カ所をすべて巡礼した場合の全長は1200～1400km程。観光バスや車を利用する場合は10日前後、徒歩で巡ると50日前後かかるといわれている。

四国八十八箇所の歴史は古く、平安末期から修行僧らの修行の場となっていた。庶民に根付いたのは室町時代になってからで、その後江戸時代には庶民の間で大ブームとなり一大観光産業に発展した。

現代においては、従来の信仰に基づくものや、現世・来世利益を期待する巡礼者も引き続き大勢いるが、1990年代後半からは信仰的な発心よりも、いわゆる自分探し、癒しとしての巡礼者が増えたといわれている。一時期減ったといわれるすべての札所を徒歩で巡礼する歩き遍路も同じころから増えた。また、バックパッカー的な感覚やトレッキングを楽しむ感覚で遍路をする者も増えたといわれている。その人数は定かではないが、年間30万人（うち歩き遍路が5000人）ともいわれている。

遍路は順番どおり打たなければならないわけではなく、各人の居住地や都合により、移動手段や日程行程などさまざまである。1度の旅で八十八カ所のすべてを回ることを「通し打ち」。何回かに分けて巡るのを「区切り打ち」という。